

漁海況情報

第470号(平成23年8月11日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

観測日:8月8日(最上丸および月峯)

表層は「平年よりかなり高め」、50m～200m層は「平年よりやや低め」～「平年よりやや高め」、300m層は「平年よりはなはだ高め」です。

地先平均水温(7月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	24.5	-1.1	+1.3	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	22.8	-1.4	+0.7	やや高い

各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	28.2	16.2	12.4	10.4	8.5	2.8
前年差	+1.3	-1.9	-0.7	+0.7	+3.2	+1.1
平年差	+2.4	-0.8	-0.2	+0.2	+1.3	+1.1
評価	かなり高い	やや低い	平年並み	平年並み	やや高い	はなはだ高い
(前月評価)	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	-

評価の表現:”平年並み”は約2年に1回,”やや”は約4年に1回,”かなり”は約10年に1回,”はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

各種漁業情報

1. 大型クラゲ情報

(独)水産研究総合センターによると、8月1日現在、大型クラゲは韓国西岸の黄海中央域において少量の出現が確認されました。なお、今後の出現予測として、黄海中央域の大型クラゲ群は8月末まで黄海内部に滞留し、日本周辺海域への大量出現の可能性は低いとの情報提供がありました。

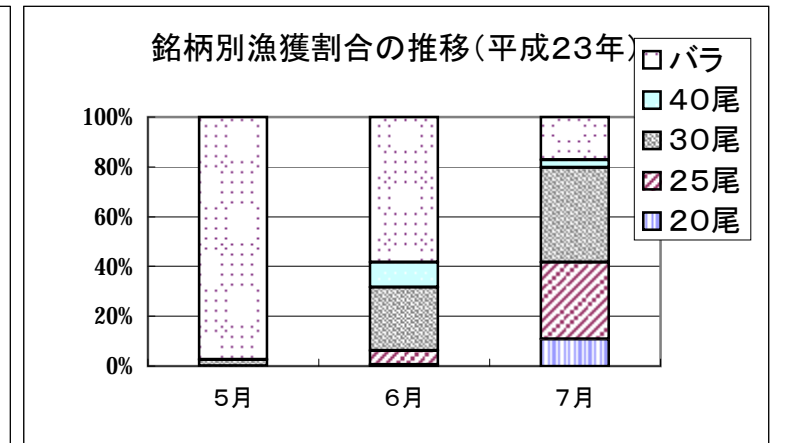
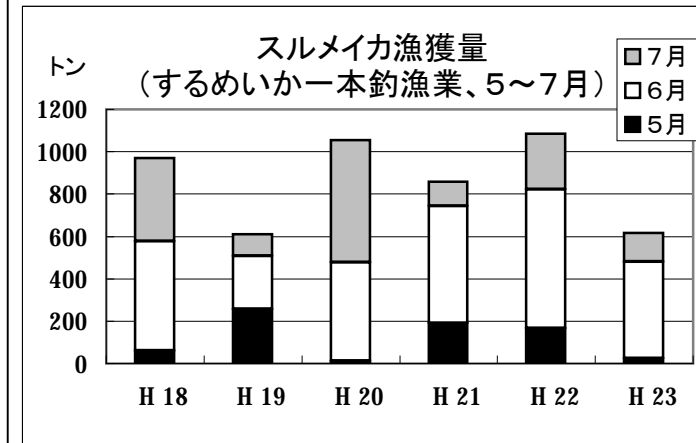
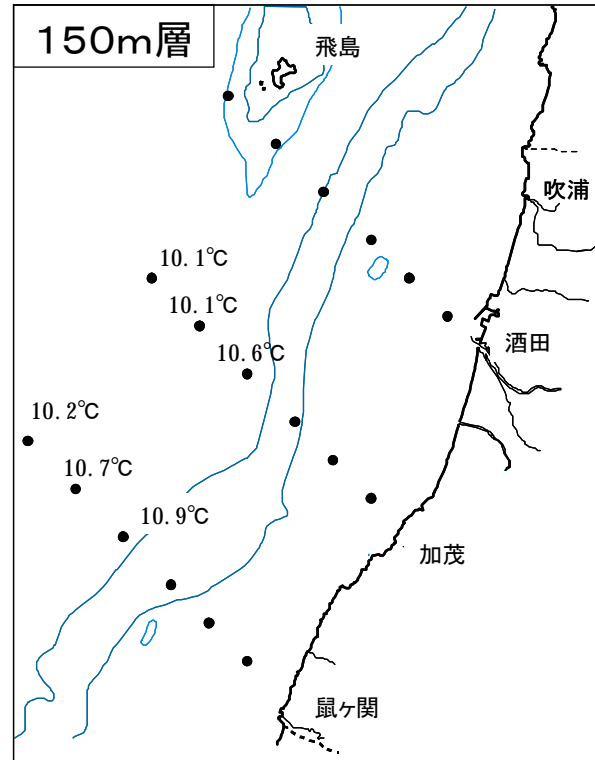
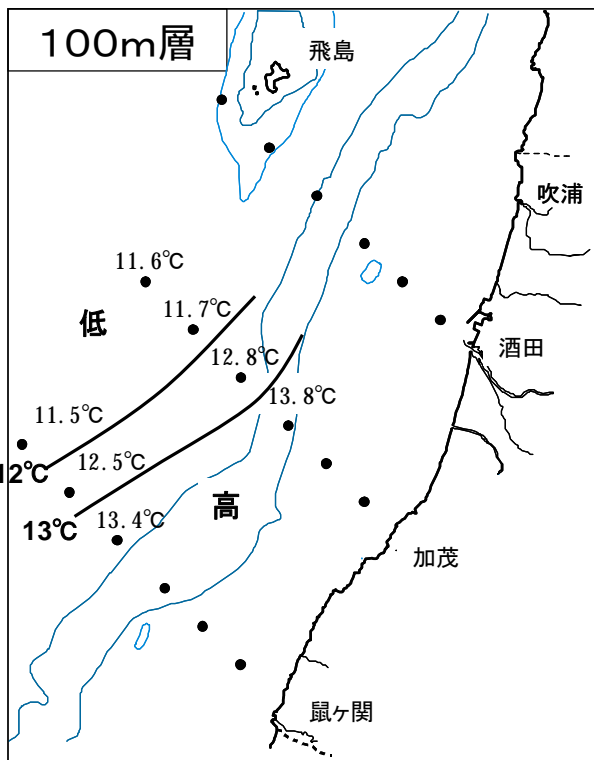
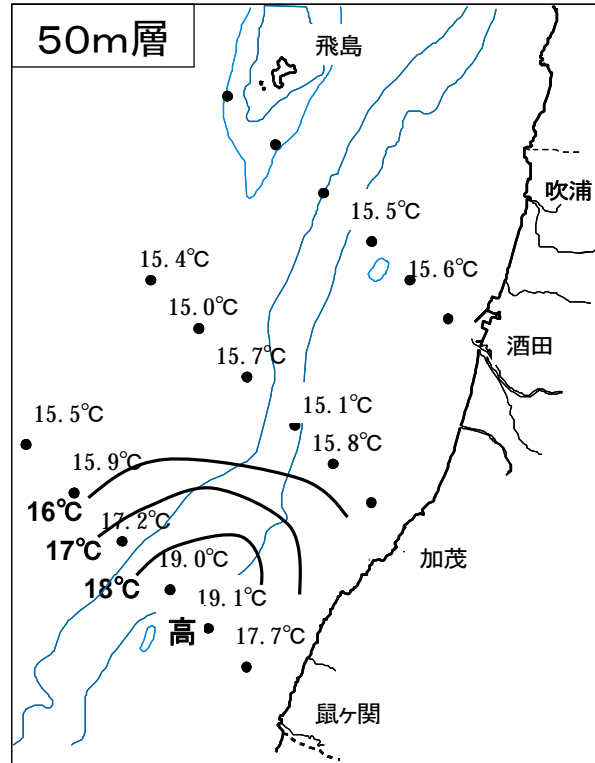
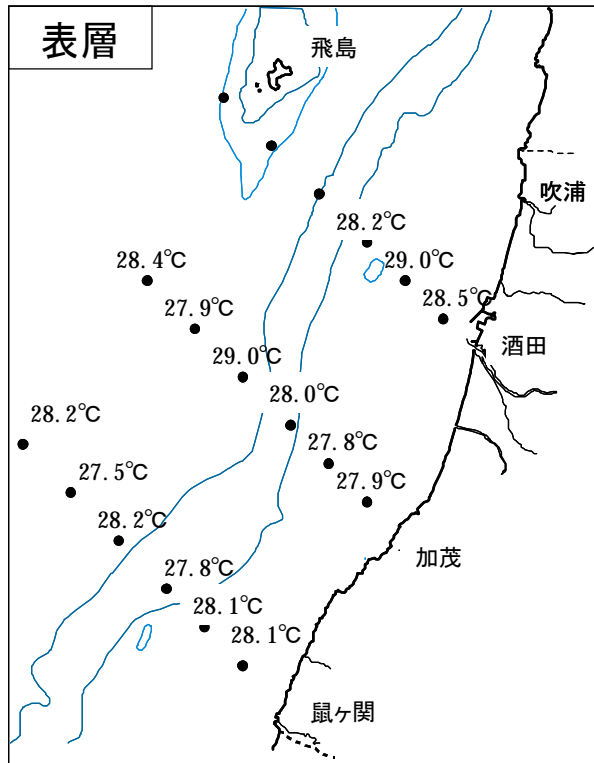
今後引き続き、日本近海での大型クラゲの情報が入り次第情報提供を行います。(大型クラゲ情報は(独)日本海区水産研究所ホームページで随時更新されています。)

2. するめいか一本釣漁業のスルメイカ漁の状況

5～7月までの本県の漁獲状況は、949隻(前年比70%、平年比82%)、617トン(前年比57%、平年比68%)、181百万円(前年比67%、平年比73%)で、ほぼ終了しました。

特徴としては、以下のとおりです。

- ① 6月上旬の日本海の表面水温が気象の影響で広域的に「はなはだ低め」となり、水温上昇が遅れたため来遊が遅れました。
- ② ①の原因により、成長が遅れたため、前半は小型個体の割合が多くなりました。
- ③ 男鹿沖冷水の張り出し勢力が弱く、主群は水温の上昇とともに青森～北海道日本海沿岸を北上し、県内への水揚げは8月上旬にはほぼ終了しました。



7月の漁況

- ・延べ操業隻数は、4,158隻で前年比89%でした。
- ・総漁獲量は、632トンで前年比89%でした。
- ・採貝藻漁業の漁獲量は106トンで前年比94%でした。アワビ、サザエ、アラメ(飛鳥、乾物)は前年を上回りましたが、モズクは下回りました。
- ・定置網漁業の漁獲量は43トンで前年比151%でした。ブリ類、アジ、ウマツラ、トビウオは前年を上回りましたが、サワラは大幅に下回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は14トンで前年比58%でした。クロソイは前年を上回りましたが、タイ類、ブリ類、マグロ(メジ含む)は下回りました。
- ・その他の漁業では、船凍いか釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリ(ウシノシタ類)、サザエ、ごち網漁業のタイ類、一本釣漁業のブリ類は前年を上回りましたが、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のキス、あまだいさし網漁業のアマダイは下回りました。

全漁業支所別漁獲量

* 前年比は平成18~22年までの平均値と比較した値です。

単位: 隻・kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ業隻数	363	518	756	342	432	510	285	952	4,158	96%	89%
漁獲量	34,013	56,643	285,623	101,485	37,710	40,619	10,039	66,301	632,433	95%	89%
前年比	88%	86%	103%	120%	59%	149%	150%	65%	95%		
前年比	81%	82%	92%	112%	66%	135%	109%	66%	89%		

採貝藻漁業

単位: 隻・kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	224	227	124	136	267	254	154	516	1,902	93%	98%
イワガキ	23,537		15,816	7,921	9,324	8,467	5,381	16,663	87,109	108%	92%
アワビ	246		5	9	30	162	56	62	570	330%	223%
サザエ	13	5,243	18	546	515	1,221	256	1,164	8,976	91%	157%
アラメ		4,399	24						4,423	359%	236%
イギス				10	79		12	189	290	66%	115%
モズク				129	555	52	2		738	13%	12%
その他	225		215	602	1,001	878	131	657	3,709		
計	24,021	9,642	16,078	9,217	11,504	10,780	5,838	18,735	105,815	99%	94%
前年比	74%	67%	96%	146%	108%	154%	294%	111%	99%		
前年比	63%	149%	125%	82%	80%	142%	187%	102%	94%		

その他の漁業

単位: 隻・kg

漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣り漁業	さし網漁業			あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣漁業	ばいかご漁業
			ネジリ	サザエ	キス				
延べ操業隻数	247	7	778			97	150	321	29
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ	サザエ	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	バイ類
漁獲量	137,930	143,680	3,971	7,129	1,458	2,262	32,031	3,509	16,149
前年比	53%	218%	187%	121%	93%	98%	170%	140%	102%
前年比	48%	180%	159%	144%	45%	62%	155%	141%	86%

定置網漁業

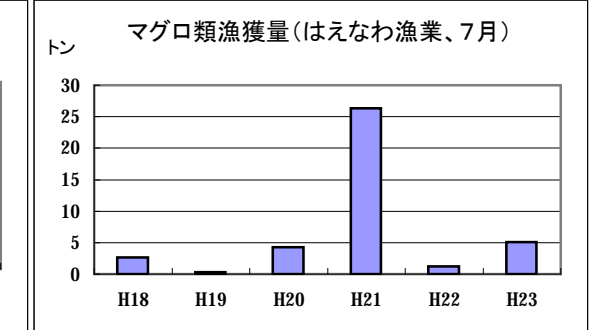
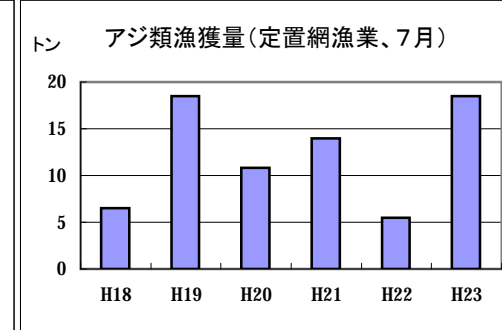
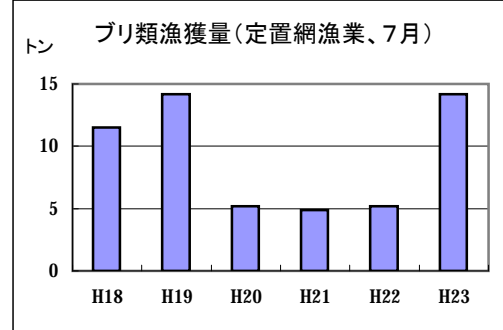
単位: 隻・kg

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	12	37	21	19	89	116%	90%
ブリ類	1,054	6,851	3,847	2,630	14,382	273%	174%
アジ	325	4,475	5,952	7,722	18,474	335%	167%
ウマツラ	50	514	266	899	1,729	124%	180%
トビウオ	2,052	1,045	410	250	3,757	188%	145%
サワラ	4	47	22	265	338	1%	1%
その他	357	1,995	918	1,050	4,320		
計	3,842	14,927	11,415	12,815	42,999	217%	151%
前年比	210%	211%	200%	246%	217%		
前年比	176%	148%	193%	151%	151%		

はえなわ漁業

単位: 隻・kg

支所	飛鳥	酒田	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	24	33	27	95	120	22	321	80%	64%
タイ類	399	1,465	972	1,469	1,348	426	6,079	32%	50%
ブリ類		152	9	241	241	-97	546	20%	17%
マグロ(メジ含む)	34	211	206	1,714	2,744	172	5,081	415%	73%
クロソイ	862	10	2	3	28		905	127%	335%
その他	439	211	206	344	287	358	1,845		
計	1,734	2,049	1,395	3,771	4,648	859	14,456	56%	58%
前年比	54%	23%	51%	92%	104%	36%	56%		
前年比	66%	38%	51%	68%	68%	42%	58%		



最上丸の調査予定(8月中旬~9月上旬)

底びき網漁業漁期前調査、重要魚種の加入量調査、海洋観測、上架整備

- ・休漁期間中の底びき網漁場状況を調査し、情報提供します。
- ・ヒラメ、アンコウ、カレイ類等の重要な底魚類の資源動向を明らかにするため、稚魚や幼魚の生息状況を調査します。
- ・海洋観測を行います。
- ・上架整備を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いいたします。